

12月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 令和元年12月12日(木)
- 2 開催場所 新館8階 教育委員室
- 3 出席した委員 小南教育長、廣岡委員、播委員、坂元委員、土屋委員
- 4 出席した職員 高井教育総務部長、山本教育指導部長、
吉田教育総務部次長、杉本教育指導部次長、
神吉教育指導部学校教育担当参事、
山野教育総務課長、岸田学務課長、
福島社会教育・スポーツ振興課長、
境学校教育課長、今津青少年育成課長、
加藤教育研究所長、藤崎教育総務課副課長、
岡本教育総務課管理調整係長
- 5 傍聴者 4人
- 6 議事の要旨
 - 開 会 午後2時00分
 - 会議録署名委員指名のこと
土屋委員に決定
 - 11月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
(事務局から会議録朗読報告)
承 認
 - 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定

(協議事項)

1 令和元年度 12 月補正予算に係る意見について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委員：(1)から(4)については、計画の円滑な進捗の結果であり、評価したい。(5)についても、予算の有効活用という点で、安価な方法にすることから、妥当であると考えている。(6)については、例年に比べて故障が頻発したとのことだが、故障内容はどのようなものか。

事務局：故障内容は、平成 25 年度に職員室に配備したプリンターが想定を超えて故障したこと及びNASサーバの故障が頻発したことが主な要因である。

委員：故障が頻発したとのことだが、代替として新しいサービスを利用するため、今後はNASサーバを使用せず、故障が発生しないという認識でよいか。また、本来は故障が多発する前にNASサーバから移行する予定だったが、結果として故障が多発してしまったという認識でよいか。

事務局：そのとおりである。

委員：計画の前倒しについては、歓迎すべきことであり、予算については、必要なところに使ってもらいたい。小学校の空調機器設置完了に伴うリース料が補正予算で計上されているが、光熱水費は、当初予算に元々計上されているということによいか。

事務局：小学校の空調については、元々令和 2 年 1 月から運用開始を予定していたため、当初予算で 3 か月分の光熱水費 16,277 千円を計上している。

委員：今回の補正予算におけるリース料の計上については、空調が完成した時点で金額が判明することから予算に計上されていなかったという理解によいか。

事務局：今回の補正予算におけるリース料の計上の経緯についてであるが、まず、昨年度に大阪ガスファイナンス株式会社とリース契約を締結した。その後に空調機器を買い取ることで国庫補助を受けられる可能性が示されたため、昨年度の 3 月補正予算にて買取費用を計上し、今年度に繰り越している状況である。現在、大阪ガスファイナンス株式会社と買取契約に向けた交渉を進めているところだが、一旦リース契約を

実行した上で、買い取る必要があることから、買取りまでの期間にかかるリース料を計上したものである。

委員：空調の冬季の暖房使用に関して、乾燥対策はどのように実施するのか。

事務局：空調機器については、機器自体で乾燥対策ができるような機能は備えていない。先日、空調設備運用マニュアルを校長会で説明したが、その中で定期的な換気やぬれタオル等を活用した加湿による乾燥対策について注意を求めたところである。

委員：インフルエンザも爆発的に流行しているところであるが、予防の観点からも加湿の重要性は周知の事実だと思うが、個々の教室で環境に差がないように注意願いたい。

委員：空調が導入されることで、教員には新たな指導領域が増えると考えられる。不平不満の火種にならないよう教室における温度差等に対し、子どもたちが自分でも対策できるような指導に留意してもらいたい。

委員：服装等の対策については、学校だけで指導するのではなく、家庭においても子どもたちが自分でできるようになってもらいたいと考える。それらの点も踏まえ、保護者には十分に周知してもらいたい。

委員：適切な温度設定等による環境への配慮についても、教員や子どもたちと共有してほしい。

事務局：空調設備運用マニュアルでは、学校環境衛生基準に基づき、運用の目安として、室内温度を冬季は摂氏 17 度、夏季は摂氏 28 度とし、適切な室内温度を摂氏 17 度から摂氏 28 度に保つように、学校に提示したところである。

また、職員室には、集中監視の機能も備えているため、電源の集中管理ができるほか、空調機器自体の性能も向上しており、比較的短い時間で適切な室内温度になることから、子どもたちにとって快適な環境を保ちながら、できる限り環境にも配慮した運用をお願いしたところである。

事務局：空調設備運用マニュアルの冒頭には、化石燃料の負荷が非常に高い装置であることも記載しており、環境に配慮しながら適切な温度管理を各校長にお願いしているところであるが、その日によって、室内温度摂氏 17 度の感じ方も異なると考える。改めて教頭会でも環境に配慮した運用を依頼するつもりである。

2 令和 2 年度全国学力・学習状況調査への参加について

(教育指導部参事から説明)

原案可決

委員：令和元年度加古川市の学力・学習状況のリーフレットについては、例えば、課題を箇条書きにするなど、もう少し工夫が必要であると感じた。結果については、精査の上、子どもたちの指導に活用していただきたい。

委員：教育委員会として、学校単位の結果の公表はしないとのことだが、教員は自身の学校の結果を把握しているのか。

事務局：学校ごとに調査結果を返却しているため、教員は自身の学校の結果を把握している。

委員：教員は学校単位での正答率等を把握できるのか。

事務局：学校単位での結果は公表していないため、教員は加古川市全体の結果と自身の学校の結果のみ把握できる。

委員：学校間での比較ができないのはなぜか。

事務局：本調査の目標自体が競争を助長することを目的とはしていないため、調査が開始された平成 19 年度から学校単位の結果は公表しないこととしている。ただし、加古川市全体の結果については、公表しても競争を助長することはないという判断のもと公表しているところである。

委員：協同的探究学習の成果を把握することはできるか。

事務局：令和元年度加古川市の学力・学習状況のリーフレットの中に、児童生徒質問紙から「主体的・対話的な学びに関する項目」を抜粋しており、全国と比較すると加古川市は中学校では若干下回っているが、小学校では上回っていることから、少しずつ成果は出ていると考えている。

中学校の国語や小学校の算数等においても、記述して自分の考えを表現する問題では、従前から平均正答率が低く、無回答率も高かったが、そのような問題に取り組む際の姿勢が年々改善されていると感じている。

委員：この結果から学校に対し、教育委員会として指導力の向上等を目的としたフィードバックを行うのか。

事務局：教育委員会においても結果の分析は行うが、各学校にも結果が返却されているため、各学校において分析をしている。また、教育委員会としても課題と捉える問題もあったため、校長会で提示した上で、各学校において改善方法を検討し、授業に反映するように伝えたところである。

また、同音異義語やことわざ等を日常生活の中で使用する機会が乏しいのではないかとすることも指摘しており、保護者も含めて、日常生活の中で使う時間や機会を設けるように周知しているところである。

事務局：学校単位の結果を公表していないため、教育委員会としてもその結果をもとに指導しないこととしている。各学校の実情に応じた対応をするということで理解いただきたい。

委員：小学校は6年生が受けるが、個人ごとの結果に基づく指導については、中学校になっても継続して行うべきであると考えている。また、結果を経年比較する上で、把握できる傾向等に対して、どのように対策していくのか教えてほしい。

事務局：小中の連携については、6年生時の結果をその児童が進学する中学校へ伝えることで、継続した指導が可能な状況である。また、各学校での取組や改善方法はユニットの中で共有しているところである。この調査の対象は6年生だけであるため、結果の連続性という点では評価しにくい。平成19年度から実施されている調査であるため、加古川市だけでなく、全国的な傾向も把握しているところである。今後も結果の傾向等を参考にしながら教育課程を編成していきたい。

委員：指導要領の改訂等で大変だと思うが、協同的探究学習などによる授業改善は今後も継続してもらいたい。また、令和元年度加古川市の学力・学習状況のリーフレットについては、よりわかりやすい内容になるように改善を検討してもらいたい。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

1月9日（木）午後1時30分から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 令和元年第4回市議会（定例会）における一般質問について

12月4日（水）、5日（木）に一般質問があり、教育委員会関係では、落合誠議員から、大項目「子育て支援策としての先進的な取り組みについて」のうち「制服等リユース事業の支援について」、柘植厚人議員から、大項目「学校外の多様な学びについて」のうち「学校関係者と学校外の多様な学びの場との意見交換会等の開催について」「学校外の多様な学び等に関する情報提供について」、中村亮太議員から、大項目「児童生徒の学力と学習状況について」のうち「学力面での検証改善サイクルについて」「学習状況面での検証改善サイクルについて」「自学自習の環境について」、山本一郎議員から、大項目「公立幼稚園の今後のあり方について」のうち「公立幼稚園の入園状況について」「公立幼稚園の今後のあり方について」、藤原繁樹議員から、大項目「幼児教育・保育の無償化に伴う3歳児の提供体制について」のうち「幼児教育・保育の無償化に伴う提供体制について」の質問があった。

それぞれの質問の趣旨と答弁の要旨を説明する。

(2) 令和2年第1回市議会（定例会）日程（案）について

2月26日（水）から3月26日（木）に開催される。

(3) 両荘地区オープンミーティングについて

11月30日（土）に、平荘小学校及び上荘小学校で開催され、両小学校合わせて118人の参加者と積極的に意見交換を行った。

(4) 加古川市少年善行賞表彰式について

11月11日（月）に、小学校・中学校・特別支援学校の児童・生徒47人を表彰した。

(5) アタック・ゴーについて

11月14日（木）に、社会体験として、不登校の児童・生徒20人とともに、北条鉄道の法華口駅から徒歩で鶉野飛行場跡へ行き、その後、兵庫県立フラワーセンターへ向かう行程に参加した。

(6) 加古川市小学校連合音楽会について

11月22日（金）に、市内15校の小学校による小学校連合音楽会に参加した。

○ 教育委員諸報告

〔坂元委員から〕

(1) 幼小の円滑な接続事業推進研修会について

11月15日(金)に、加古川幼稚園及び加古川小学校で開催され、数量について認識を深めるために、お店屋さん遊びを通じて教員が工夫する姿や園児が楽しみながら学ぶ様子が見られた。

〔土屋委員から〕

(1) 学校訪問について

11月29日(金)に、加古川養護学校を訪問した。通学する子どもたちの多さや少人数単位による学級経営について初めて知ることができた。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 両荘地区オープンミーティングの実施結果及び両荘地区全戸アンケートの実施について

11月30日(土)に、平荘小学校及び上荘小学校で両荘地区オープンミーティングを実施した。また、1月に両荘地区全戸アンケートを実施する。

委員：両荘地区オープンミーティングでは、両荘地区モデルプランとして、施設一体型小中一貫校を提案しながら、アンケートでは、施設分離型小中一貫校も選択するようになっているのはなぜか。

事務局：アンケートに同封する両荘地区の教育環境に関する説明資料において、両荘地区オープンミーティング当日の説明内容と同様に、今後の児童生徒数の推移やこれまでの協議経過から、加古川市の考える望ましいプランとして施設一体型小中一貫校を提案しているところであるが、アンケートには、施設分離型小中一貫校等も含めた選択肢を記載し、説明資料に記載しているその他の内容も踏まえ、今後の方向性を選択してもらうようにしている。

教育長：施設一体型小中一貫校については、加古川市として決定したということではなく、両荘地区オープンミーティングの参加者の意見を活発かつ具体的にするため、提案したところである。今後の方向性については、地域の意見を踏まえた上で決定していく予定である。

(2) 感染性胃腸炎及びインフルエンザによる学級閉鎖の状況について

12月3日(火)、野口小学校で「感染性胃腸炎」による学級閉鎖を行った。

また、12月10日(火)、浜の宮小学校及び野口南小学校で「インフルエンザ」による学級閉鎖を行った。さらに、12月13日(金)、上荘小学校及び平岡北小学校で「インフルエンザ」による学級閉鎖を行う予定である。

委員：インフルエンザについては、流行傾向にあるため、注意してもらいたい。

以上、2件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 社会教育委員会議の開催について

11月13日(水)に、令和元年度第4回社会教育委員会議を開催した。

(2) 令和2年加古川市成人式について

成人式記念式典を1月13日(月・祝)成人の日を開催する。

(3) 令和元年度3学期・令和2年度幼小中養護学校儀式日程について

令和元年度3学期並びに令和2年度幼小中養護学校の儀式日程について報告する。

委員：毎年お願いしているところであるが、中学校の卒業式の日程について検討状況を教えてほしい。現状、中学校の卒業式は公立高校の入試の2日前に実施されているため、インフルエンザ等に心配しながら、子どもたちにとって大切な義務教育の区切りとなる卒業式を迎えなければならない状況である。また、全国的に見ると公立高校の入試の後に卒業式を実施している県もあるため、何か工夫できることはないか検討してもらいたい。

事務局：全国的に見ても、公立高校の入試の前に卒業式をしている都道府県が少ないことは把握しており、また、市によって卒業式の日程を変更することは可能である。ただし、私学の登校日が現在の卒業式の日程を前提として設定されているため、加古川市単独で変更するのは難しい状況である。必要性については十分に認識しているため、今後も前向きに検討していきたい。

以上、3件について報告

○ 閉会 午後3時25分